



留学生と語り合う No. 86

RKKニュース

(2022年 新年号)

NPO 法人 留学生と語り合う会(RKK)

Relationship and Kindness are the Kings of Peace

RKK 活動のオンライン利用について

ICT 推進委員会

昨年、実施した会員、留学生それぞれへのオンライン利用に関するアンケートの結果、会員では約66%が、留学生では殆どがオンラインを利用中です。現在、オンラインの未利用の会員の中にも利用方法がわかれば利用を希望する方々が約半数おられます。オンラインによる支援を多くの留学生が希望しております。

コロナ禍でRKK活動の基本である“交流”が断たれそうになりましたが、オンラインのおかげで、ある程度の活動を続けることができます。オンラインは地区交流会、委員会では多く利用され、日本語支援では約60%の方々がオンラインを利用されています。オンラインの利用には長所短所もあります。一方、アンケートではコロナ後にもオンラインの利用価値はあるとの意見もありました。

社会のデジタル化の潮流もあり、ICT推進委員会では、活動に有益なオンライン利用の道を探るべく、まずは会員へのオンラインのよりよい利用方法の支援に注力します。さらに、オンラインの新しい利用技術やセキュリティ対応を進め、また、オンライン活用による交流幅の拡大や新しい活動への利用等も模索したいと考えています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。(深水)

Online use of RKK activities

ICT Promotion Committee

According to the results of our questionnaire conducted last year, 66% of RKK members and most of the international students use online. About half the members who don't use online want to use it if they know it's using method, and many international students also want online support.

While the “exchanges”, which are basic activities of RKK, were cutting off under the Covid-19 pandemic, we can continue our activities on some level thanks to online. We have many online area exchange meetings and committees, and 60% of Japanese support members use online. There are both merits and demerits in using online, however, there was an opinion that online use will be valuable even post-Covid in the questionnaire.

To find a useful way of online use for our activities in the trend of a digital age, the ICT Promotion Committee focuses on better methods of online use for RKK members and considers support methods. We also want to develop new techniques for utilizing online and security measures. In addition, we will find ways of expanding a range of online exchanges and using online for our new activities.

We would appreciate your cooperation.

(Translated by Azusa Sugita)



留学生からのたより

日本留学で学んだこと

チン ティ タオ (ベトナム) 横浜国立大学大学院



皆さん、明けましておめでとうございます。

私は、ベトナムから来たチン ティ タオと申します。現在、横浜国立大学・都市イノベーション学府・修士2年生で、交通と都市計画を専攻しています。

私が日本に来たのは7年前のことでした。振り返って見ると、この7年間で大変なこともあれば嬉しいこともいっぱいあり、充実した留学生生活を過ごしたと自分自身に言えるでしょう。

初めて日本に来たときは、すべてが大変でした。当時は、日本語がまだ話せなかったため、日本語学校の学費や生活費を支払うためのアルバイトを中々探せませんでした。しかし、幸いなことに先輩の紹介で、ある居酒屋でのホールスタッフとして採用されるようになりました。ホールスタッフというのは、お客様の席の案内、飲み物や料理の注文を受ける等、いわゆる接客をする役割ですが、日本語が上手ではなかった私にとってとても難しい仕事でした。最初は、お客様からの注文を聞き間違えたり、メニューの名前を覚えきれなかったりしたため、ミスをよくしていて、周りのスタッフに迷惑をかけてばかりでした。しかし、そんな私に対して、お店のスタッフの皆さんがいつも優しく、時には厳しく仕事の内容だけではなく、日本語も教えてくださったため、徐々に仕事にも慣れてきたし、日本語学校では学べない日常生活の日本語を学べる場となりました。私の今の日本語は、様々な場所でそこに出会った人々に教わった日本語ともいえるでしょう。

現在、修士論文では、母国ベトナムにおける都市開発に関して研究しています。そこで、日本の都市計画の制度をベトナムに適用できる可能性を調べるために、ベトナムの行政機関の専門家やベトナムの都市開発事業に携わっている日本人の専門家に対してインタビュー調査を行っています。インタビュー調査の対象者にコンタクトを取るには、多くの人々からサポートしていただいています。大学の先生、ベトナムでの大学の先生、アルバイトをしているコンサルタント会社の社員など、皆さんが私の研究内容を理解してくださり、対象者として相応しい専門家を紹介してくださったおかげで、インタビュー調査の対象者と連絡を取れるようになっています。

このように、留学をして一番学べたことは何かと聞かれたら、それは人々の心の温かさです。RKKの皆様をはじめ、日本で出会った日本の学校、日本の友達、バイト先、大学の先生など多くの人に支えられて私が今いるのだと思いました。4月から就職しますが、今まで築いてきた関係を大事にしながら、困っている後輩や他の留学生の支えになるような社会人になりたいと考えています。

(原文のまま)

留学という旅で学んだこと

アリム イケラム (中国) 千葉大学大学院



皆様、こんにちは！

アリム イケラムでと申します。本日は今までの留學生活についての感想を皆様と共有したいと考えています。日本へ留學し、様々な面で多くのことを学び経験させていただきました。細かく話せば数時間はかかると思いますので、今回は日本語の勉強についての感想をまとめさせて頂きたいと思います。

初めて来日した時、日本を全く話せないままだったので、一番困難だったのは日常生活でのコミュニケーションでした。言葉の壁を感じ馴染めずに悩みましたが、持ち前の前向きさで、失敗を恐れず日本語で話しかけていくうちに相手も心を開いてくれるようになって、今のようにコミュニケーションを取れるようになってきました。

日本語を勉強するのは、日常生活のためだけではなく、言葉という「手段」を通して、日本文化への理解を深めるがメインの目的でした。言葉を学びながら、学会や個人旅行で何度も、関西や東北エリアに行った機会がありました。日本語をある程度話せるようになったおかげで、旅の途中に関東弁と関西弁の違いなどを感じたり、地元で詳しい方々が街の案内をしてくれたり、写真を撮ってくれたり、毎度の旅の途中でいろんな親切な人々に会い、心も温まりました。

今年3月からは、RKKとのお会いをきっかけとして、布津先生のご紹介で石塚先生のご指導を受けています。コロナ禍の中、対面ではなくネット上での授業となりましたが、授業中に色々なことについて歓談し、先生方々との心触れ合いを通して真の国際文化交流及び相互理解を深め、「奉仕の心」を学んでいます。また、就職活動のご支援をはじめとして、先生方からは今まで耳にしたことのない言葉や面白いエピソードをいっぱい聞くことが出来ます。これは、私にとって非常に大切なことであり、これからの人生で必ず役に立つと思います。ご指導及びご関係いただいた先生方々には、いつも心より感謝を申し上げたいと思っています。

今後、日本で習ったことを、日本と母国の友好のために生かし、社会に貢献できる人間になるために精一杯頑張っており、RKKと結べたこの縁を永遠に続けたいと強く望んでいます。(原文のまま)

わたしのくにパキスタン(PAKISTAN)について

ウスマン アリ (パキスタン) 横浜国立大学大学院



みなさん、こんにちは。ウスマン・アリ(Usman Ali)です。2019ねん、にほんにきました。かぞくといしょうによこはまにすんでいます。横浜国立大学のりゅう学生です。せんもんは土木工学です。くにはパキスタンです。パキスタンはインドのにしがわにあります。しゅとはイスラマバードです。にほんからパキスタンまでひこうきで16じかんぐらいかかります。

パキスタンにはたくさんゆうめいなばしょがあります。カシミールはいちばんゆうめいなかんこうちです。わたしはそこに3かいいったことがあります。カシミールには、ゆうめいなやまとかわがたくさんあります。せかいでにばんめにたかいやまK2もあります。

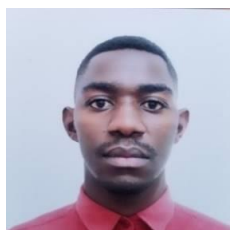
パキスタンにはイベントもまつりもたくさんあります。しゅうきょうてきなもの、こっかてきなもの、ぶんかてきなまつりなどがあります。

しゅうきょうてきなまつりがいちばんゆうめいです。1ねんに2回しゅうきょうさいがあります。なまえはエイド (EID) です。そのひは、ともだちとあったり、でかけたり、りょこうをしたりします。みんな、でんとういしょうをきます。いちにちじゅうパーティーをします。パーティーにはかぞくやこども、ともだちなど、だれでもさんかできます。まつりはみっかかんします。2021ねん、わたしは行っていませんが、2022ねんには、かぞくといこうとおもっています。

エイドのとき、おいしいたべものをたくさんたべます。たとえば、あまいりょうりのセビヤンやラスマライです。パキスタンのとくべつなりょうりです。ビリヤニ(rice and chicken)とニハリ(chicken curry)もつくってたべます。からくないのでにほんじんもたべられます。ジュースやおちゃをのみますが、おさけはのみません。おみやげはウッドモデルとでんとういしょうのドレスがゆうめいです。とてもおもしろくてきれいなので、かってみてください。 (原文のまま)

My journey to Japan and the impression

チサンガ ブライアン ソロチ (ザンビア) 横浜国立大学



It was in 2019 when I started looking outside my country to pursue further studies that I came across some good graduate programs at Yokohama National University. But getting full information on how to apply is what really was a challenge. In life I have come to believe that you can have whatever you want as long as you put your mind to it.

Later in that year and by accident I met one of the Japanese expert under JICA who was working in one of the departments at my work place. I did not know her but the first conversation I had with her gave me hope. At the very first meeting, I knew I was not going to meet her any time soon in the near future, I inquired about how to go about applying for Japanese scholarships. Her reception and openness was what struck me. I remember vividly her telling me that there were some programs that were to be offered in that very year (2019). How luck I was to engage in that conversation on that first time. Fast forward, we exchanged email addresses and just before the year end, she sent me the links and that's how I applied and got accepted. Thanks to her!!!

The impression I got from that lady that Japanese people are open and ready to help is what kept me thinking and looking forward to come to Japan. When I arrived last year, basically in the time of Covid 19, much of the movements were and till now restricted but I have come to learn that Japanese people are often shy and open, intelligent, ready to work and ready to help. As a result of few Japanese friends I have made (including the help of Mr. Hirasawa) life as a student has been fine.

I sincerely appreciate. They support me especially that my Japanese language is very limited. In as much as there are restrictions, I have visited few places but I hope and look forward to visiting many places in Japan. I love adventure and I would love to visit Mt Fuji and just other historical sites.



留学生の就活

博士課程 就職活動の問題点



ディア スパギョ (インドネシア) 元東京工業大学大学院
博士課程の大学院生は研究に集中しており、研究関係以外の勉強をする余裕が
あまりないと思います。特に留学生の場合は色々とストレスがたまりやすい。ストレ
スの原因は研究関係だけではなく、言葉が余り理解できない国で暮らしていることや
人間関係や経済関係のこともストレスの原因にもなると思います。特に、修了見込
みの日程に近づいて来る程、辛い気持ちは強くなっていく感じがします。

私が経験した就職活動と留学生としての経験に基づいて、博士課程の場合の就職活
動の問題点、気づいたことを示したいと思います。留学生はほとんど秋入学だと思
いますので、秋入学生の就職活動の問題点を記述してみます。ですが、日本語能力レベルによっては色々と異
なることも有ると思います。

1. 早めに学校の就職課に相談すること

「早めに」っていつですか？

博士課程が始まったらすぐ相談に行きなさい！

学校の就職課では、残念ながら、あまり具体的なアドバイスをいただけません。しかも、秋入学の留
生についてあまり認識がなく春に入学する学生との就職活動の差異について十分に理解されておられな
ように感じます。従って得られる情報も少ないと感じました。早めに相談に行ったら、就職課の方々も
色々調査されるとお思いますので、得られる情報量が増えるかもしれません。

さらに、就職課には複数の方がおられると思います。相談に行ったときにあまり対応が良くないと感じ
たときは、他の職員の方に相談してみた方がいいと思います。就職課に相談に行くタイミングについて
は就職相談者がピークの時期を避けた方がいいです。日本の就職活動は3月から開始ですので、3月か
ら6月にかけては避けた方がいいです。もし、博士課程の一年目にスタートが中々できない場合には、一
年目の終わり、あるいは二年目の初めに開始することが大変おすすめですよ。

また、大学によっては就職活動の対応も違うと思いますので、是非確認してください。私の大学の場
合は大学全体の就職課だけではなく、各学部で就職活動を担当して下さっている先生もおられます。得られ
る情報も違ってきますので是非上手に利用してください。

注意する点：博士課程の採用は世界的には一年中ですが、日本ではこのような採用システムを導入して
いる会社は少ないため、春先が就職活動時期である普通の就職パターンもフォローしたほうが良いか
もしれません。また、ある企業では、「博士向け採用」を行っていますが、普通の採用時期より早い
(秋〜冬ぐらい) 場合もありますので、注意が必要です。

2. 早めに情報を集める

「早めに」っていつですか？

博士課程が始まったら、すぐに情報を集めましょう！

必要な情報は例えば「留学生向け就職サービス」や「留学生もオクケーインターの募集」や「英語採

「用プロセス可能」などです。このようなインターネット情報が便利です。

どうやって集めますか？

情報が得られるのは就職課に限らず、経験ある先輩や先生や友達に就職活動の事は是非相談してください！遠慮なく、是非是非相談して情報を集めてください。

3. 学校が行う就職関連イベントには積極的に参加して下さい！

日本語で「説明会」と呼ばれています。様々な企業の人と話せるので、企業や業界の情報収集が出来て企業の雰囲気も学べます。こういうイベントで質問をする人は印象が残りますので是非上手にこの機会を利用して下さい。説明会に参加する前にはインターネットで企業の情報の調査をおすすめです。

4. 日本人向けの就職活動を経験してみてください

就職活動は本当にストレスが高くなり、精神が不安定になる要因の1つだと思います。ですので、本格的に就活をやる前に、一回練習してみてくださいか？

まずESを書く練習。ESを企業に応募しESに合格したら、適性検査と面接もあります。これらも経験した方がよいと思います。インターンシップに行く前にはこれらのテストも必ずあるので、指導教官の同意を得てインターンシップに参加されては如何ですか？

私の就活経験からこのぐらいしか情報を得られませんがお役に立てば幸いです。（原文のまま）

コロナ禍で変わったか、留学生の進路

～神奈川県大学等在籍留学生調査から～

キャリア支援委員会 畔取 孝

コロナ禍における留学生の就職活動には、どのような変化があるのだろうか？今回は、マクロ的な視点で神奈川県国際課から2021年10月に発表された県内大学等在籍留学生進路状況の調査結果からその影響について探ってみた。

		21年3月卒	20年3月卒	19年3月卒
日本国内	在籍者	大学院 742人	大学院 700人	大学院 652人
	合計	49.2%	60.4%	55.5%
	就職	24.4%	33.9%	33.3%
	進学	7.5%	8.4%	6.9%
	その他	17.3%	18.1%	15.3%
母国	合計	43.9%	29.9%	32.7%
	就職	13.2%	11.9%	13.5%
	進学	0.5%	0.7%	1.2%
	その他	30.2%	17.3%	17.9%

注目したのは、コロナ禍の年を過ぎた2021年3月の大学院の卒業者数および進路の変化である。データ内容を見ると、前年より、卒業者数は42人（742人）増加と順調であった。ところが、進路先では、日本国内と帰国者に大きな変化が見られた。日本国内に就職・進学等をした留学生は、2020年60%（423人）⇒2021年49%（365人）に、その中で就職者のみを抽出すると2020年34%（237人）⇒2021年24%（181人）へとそれぞれ大幅に減少していたのである。ちなみに、

帰国者の割合は、30%（209人）⇒44%（326人）の増加となっている。

身近な留学生（中国）に聞いてみたところ、日本国内のコロナ感染者数が多かったことへの危機感があげられた。IT企業に内定したが、ご家族の心配もあり帰国した留学生もいる。また、航空券代が4～5倍になり、気軽に行き来できなくなったこと。さらに、日本国内での生活の不便さや旅行もできなくては、日本文化に触れることもできない、といった声もあった。

当事者である留学生たちも相当悩んだ結果の判断だと想像するが、その進路に変化が出てきているのは事実である。今後の新型コロナ感染の状況は不透明だが、留学生に対しては、日本への就職等も含め、留学生のキャリア全体（母国での就職・進学・その他）への気配りをしつつ、交流していくことが求められているように思えます。 ※「大学等在籍留学生調査」は神奈川県HPの国際文化観光局国際課で検索できます。

日本語支援

私の日本語支援

東地区 あけぼし けいすけ
明星 圭介



留学生と語り合う会と言うユニークな名前に引かれて、きっと、世界各国からの若い留学生と膝を交えてじっくり話ができるのに違いないと思い、RKKの会員になったのが、数年前になります。

老人癖の懐古話になってしまいますが、なれない日本に来て勉強をしている留学生に何らかの手助けができるなら是非、お役に立ちたいもんだと考え、これで昔のご恩返しができるかなと思いました。これは、若い時に米国で受けた親切が背景になっています。

50年近くも遡りますが（昭和18年生）、勤務先会社の命をうけ、人生初の海外赴任として、米国NYに数年滞在したことがあります。海外から来ている若い外国人を支援するセンターがNYにあって、英語会話指導も受けられたので、申込みして、米国人ボランティアの熱心な個人レッスンを無料で受けました。

20代の若さでの初の花の？ NY勤務で私は大分舞い上がっていましたので、アフターファイブは、会社の同僚とNYの街を社会見学？したり、飲み歩いたり悪魔のささやきに負けてしまいます。すると、ボランティアの米国人が、レッスンさぼってはダメよ、ちゃんと出てらっしゃい！とそれは熱心に（辟易するくらい）電話を掛けて来て（確か名は、ヒルダと言う女性米国人でした）励ましてくれました。お蔭で、仕事で使える英語会話が身に付きましたので、今思えば大感謝です。その体験からその恩を、今、RKKの日本語チューターでお返ししていると言ったら、ちょっとこじつけになってしまうでしょうか。

前置きが長くなりましたが、日本語支援ボランティアでは、私自身は、日本語文法など系統だった勉強や知識がなく、難しい日本語能力試験などのN1やN2を突破してきている外国人留学生に対して、自信をもって正しい日本語を教えるなんておこがましい限りと思い込んでいましたが、チューターマッチングの親分？の布津副理事長の「大丈夫、心配しないで」との強い勧めを受けて、2018年に初めて横浜国大土木専攻の中国人留学生R君のチューター役を始めました。同君は理工の専門課程に学部進学してそちらの勉強が忙しかったとのことで、ほどなく、日本語支援は止めました。同君とは、「新聞で身につく日本語力ワークブック」（国書刊行会）を教本に使いました。

現在は、横浜国大修士課程の四川省成都出身のH嬢（社会保障法学専攻）と、北京出身の慶応大電子理工学部3年生のS君の二人のチューターを時節柄、専らZoomオンラインでやっています。前者は、主に、授業提出の論文などの添削を必要に応じてやっています。難しい修士の専門分野の内容で、これを英語で書けと言われたら私には到底、無理と感心しながら日本語文章の「添削もどき」をしています。後者は、「BJTビジネス日本語能力テスト過去問集」をテキストに使っています。同君は、学部卒業の再来年4月には日本での就職を希望していますので、東地区で紹介頂いた田中和生会員自ら作成された就活関連マニュアル（エントリーシート、面接）を、最近では、同君と読み合わせをして、実践的で中身の濃い貴重なマニュアルを、同君の既に始まっている就活に役立ててもらっています。以上、おふたりのニーズに本当に合致しているのか、駆け出し日本語チューターとして一抹の不安がありますが、冷や汗をかきながら、50年前の「鶴の恩返し」と言ったところでしょうか。

私の日本語支援

中央地区 畔取 孝

「先生おはようございます。10時半になったらお入りください。今日もよろしくお祈りします」は、オンライン ZOOM 会議のリンクに関する連絡である。昨年の夏より、留学生 支 彤彤さんとの日本語交流は、このメールから始まるようになった。

支 彤彤さんとの交流は、横浜国大大学院研究生であった2019年4月頃から始まるので、3年近くになる。当初は、県民センターを利用していた。毎週一回、内容は、近況やニュースに関する話と、教科書の読み込み、ゼミの宿題の検討であった。そして、私からの中国（語）に関する質問をちょっと加えたりしながら、楽しく、また順調にすすんでいけると思っていた。

社説

ワクチン証明 行動制限の緩和に生かしたい

2021/11/2 09:00

この記事をストックする

新型コロナウイルスのワクチン接種を促進し、社会経済活動の制限を緩和するために、接種証明の活用は重要だ。政府と自治体は普及と定着に向けて知恵を絞ってもらいたい。



政府は、接種証明や検査の陰性証明を持つ人を対象に、規制を緩和する実証調査を進めている。

プロ野球やサッカー・Jリーグの試合では、証明を持っている入場の座席種を用意し、観客を増やしても感染リスクを昇えられるかどうか調査が続いている。

徳島県の阿波おどりのイベントなどでも同様の取り組みが行われた。様々な場面で接種証明を活用

ところが、2020年2月頃の新型コロナウイルスの感染拡大から、対面の交流ができなくなったのである。そのため、交流の内容は支 彤彤さんが作成した文章表現チェックが中心となった。そのような状況の中で、その年の夏頃からやっと私が ZOOM 会議の利用ができるようになり、交流の再開となったのである。しかし、対面ではないため、学習方法のひとつであった教科書利用ができなくなった。そこで、ネット上で見ることのできる新聞の記事や天声人語に変えることにした。このことで、今までより話題が広がりさまざまな

意見交換ができるようになった。同時に、不明なところはすぐにネット上で検索ができるので、とても役だった。これらのことは、ZOOM 利用のよいところである。

このように書くと、私が率先して進めたように見えるが、ZOOM 利用と活用に関することは、すべて支 彤彤さんのおかげなのである。ZOOM に熟知している支 彤彤さんなので、ZOOM ホストのやり方を教えてもらい実際に試させてもらったこともあった。

今後、支 彤彤さんの修論作成が順調に進めば、今年3月に卒業、帰国となる。ZOOM は場所を選ばずに交流ができるので、帰国後も支さんが日本語を忘れないために交流を続けていきたいと考えている。ただし、本人が嫌がらなければという条件付きであるが。

私の日本語ボランティア

北地区 高崎 直子



今、私は2人の留学生に日本語のボランティアをしています。タイと中国の留学生です。タイの留学生は、ウィチュダー (Munbua Wichuda) さんです。津田さんに zoom でご紹介されました。週に1回1時間半くらい zoom でやっています。

ウィチュダーさんは、一回社会で働いてから、大学院の博士課程に入られました。しっかりされていて、理系さんの論理的な思考がカッコいいのに、笑顔がキュートでとっても素敵です。ウィチュダーさんの笑顔を見るたびに、微笑みの国、タイからいらっしやっただのなあと感じます。

主に大学のテキスト、宿題をやったり、ウィチュダーさんが日本語で話したい内容をスクリプトにして、自然な会話になるように練習したりしています。その際、活躍するのが GoodNotes です。GoodNotes はアプリです。iPad でペンを使います。Zoom に iPad の画面をミラーリングして共有すると、Zoom でお互い見ながら話ができるので、とても効果的です。ウィチュダーさん JLPT 合格しましょうね。一緒に頑張りましょう！

布津さんにご紹介頂いた2人目は、郭美希さんです。既に JLPT 1級があり、どのように日本語を支援して

ほしいか相談しているうちに、大学院受験に挑戦することになりました。研究計画書をどうするのかと心配でしたが、大学の先生、RKKの皆様やいろんな方々に助けってもらうことができました。ご本人の努力も素晴らしく、段々と研究計画書が出来上がり、面接試験までいきました。先ほどの GoodNotes で面接の練習をしたのは私にもいい思い出になりました。情報収集能力と周りの方々から力を借りながらまとめていったのはすごいことだと思います。大学院合格おめでとうございます！本当によかったですね。大学院に行っても頑張ってくださいね。以上が私の日本語ボランティアです。



私の日本語支援

南地区 大竹 千子



国内在住の外国人の方々に日本語をお教えるようになって20年近くになります。その間、あいうえおの読み書きからお教えし、日を追うごとに身に付き、学ぶ喜びを得ながら上達し、仕事につくことが出来るまでになった多くの方々。お子さんの保育園の件で役所迄同行し、説明を伝えて差し上げ、その後、熱心に勉強されご家族皆さまが日本での生活を有意義に過ごされていらっしゃる方。大学の英語教師として来日し、日本語を学びながら日本文化をも学びたいとのことで、心を込めてお教えし深い信頼関係が生まれ、友人同士のように勉強時間を過ごした方。小学校と中学校へ英語での入り込み支援に通っていた2011年、大地震に不安に思っているのではないかと学校まで飛んで行ったことも。20人程の方々にお教えした時は、茶道体験をして頂きながら、日本語の言語には思いやりの心が根本に内在しているということを体で覚えて頂きました。30人程の方々の時は、5グループに別れて、各自の好きな漢字、住みたい家、ファッション等を大きな紙に書いて、日本語で発表・質問をしてもらい、ワイワイと楽しく五感での勉強も盛り上がり、同調・チームワーク・和・尊敬の心を学んで頂きました。

RKKにお世話になってからは3年程になります。最初のお一人は、横浜国立大学の研究生で大学院受験のレポート添削と日常会話の指導を致しました。大学院での研究課題に関するレポートに付随する法律の意味の説明をし、文章の添削は、当初はご本人の文章の誤りを正すに留めましたが、少し稚拙である為、後に「こういう表現の方が良い」とアドバイスし、面接の為の黒のスーツをお貸しして、ご本人の頑張りで合格されました。手を取り合って喜び合いお祝いのプレゼントを差し上げました。

学習者には、相手を思う「思いやりの心」、「感謝の心」を伴う美しい日本語を身に着けて活躍して頂くことを願って、笑顔で指導してまいりたいと存じております。

会員募集中

留学生と一緒に国際交流を楽しみましょう。RKKでは下記のプログラムを用意していますので、皆様のご希望に合わせて、留学生と様々な交流ができます。



- ・日本語学習支援 (留学生と一対一で日本語の勉強、会話をします)
- ・文化・ファミリー交流 (フェスティバルを開催し、異文化交流を深めます)
- ・社会・工場見学 (工場見学、名所ハイキングに行きます)
- ・中国語学習 (留学生が先生となって、中国語を勉強します)

RKKの活動に興味をお持ちの方は右のコードを読み取るか、**RKK NPO**で検索して、RKKのホームページにアクセスしてください。会報や最近の行事案内などをご覧ください。

文化・ファミリー交流

誌上文化祭

文化・ファミリー交流グループ 徳屋 英生

RKK文化祭は2013年に第一回を開催以来、例年11月23日を目途に毎年開催されてきました。コロナ禍により昨年、今年度は中止を余儀なくされました。

従来文化祭は、1) 留学生に日本文化の紹介、体験、2) 留学生の母国紹介による会員の海外知識の深化、3) 会員の趣味、特技の紹介、4) 文化祭を通じて留学生同士、留学生と会員、会員相互の交流の活性化、5) お祭りを楽しむ、等を目的として開催されてきました。

2年続いている中止となると、その伝統、意義を見失いかねないため、コロナ禍の現在、何ができるかを考えてきました。その解決策の一つとして、会員より作品を募集し作品集としてまとめ、メール、ホームページで発表することでした。

初めての試みではありましたが、13人の会員より43作品に及ぶ多くの応募がありました。絵画、写真、書、似顔絵、川柳、風呂敷包み、バードカービング、科学模型と多岐にわたっています。ただ残念ながら留学生の応募が絵画1人と少なく、今後広く応募を募る必要があると思われます。すでにメール、ホームページでご案内済みですが、ここに再度、作品集(*)添付します。この作品集を一つの媒体として会員相互の交流が深まれば望外の喜びであります。

(*) 作品集は、[RKK Cultural Festival 2021.pdf \(coocan.jp\)](#) からご覧いただくようお願いします。

新入正会員の皆さま：よろしくお願ひします！

鳥越 彰 (茅ヶ崎市) (敬称略)

RKKホームページをお訪ねください



ホームページは随時更新しており、「会員のひろば」も開設いたしました。「会員のひろば」を通じて留学生に対する支援、交流体験の他、コンサート、映画、絵画などの文化交流情報にも利用できます。掲載希望の会員はメッセージをRKK広報委員会スタッフにお知らせください。

・投稿先アドレス：sugita1526@ybb.ne.jp

・掲載ホームページ：<http://rkk.world.coocan.jp/> または、**NPO RKK** で検索。ホームページへのアクセスには、右のコードをスキャンしてください。

広報委員会では皆様からの広場への寄稿をお待ちしております。

広報委員会

外国語学習

「ベトナムの言語と文化を発見してみよう！」

プンティシュアンフォン（ベトナム） 横浜国立大学大学院

RKKのベトナム語学習講座はコロナウイルスのため、2021年9月5日の1回目のクラスから完全にオンラインで開催されています。

講座を始める前に、RKKの山崎さんと萩原さんからいろいろ教えていただき、Zoomの機能を使ったオンライン学習に慣れるためのテクニカルチェックセッションも行いました。ベトナム語は難しい言語なので緊張しました。どのくらいの日本人が興味をもっているかわかりません。クラスは受講者12人で始まりました。私はとてもうれしかったです。

この講座では、教科書を使うだけでなく、写真や音声で説明する独自のスライドを作成します。発音の練習をサポートするために、すべての資料は、そこで、ゲームや、小グループ、ペアで会話を練習するためのZoom機能、ロールプレイなど、さまざまな活動を組み合わせています。

毎月30分、ベトナムの暮らしや文化の紹介を、ビデオや写真で行います。今まで、ベトナムの有名な観光スポットについて紹介しました。将来は、ベトナム人をゲストに招待して会話の練習を計画しています。

RKKからのたくさんのご支援と皆さんのご協力で、私はこのコースを教えることができます。私の日本語能力は限られていますが、クラスの熱心な学習者に言語と文化の両方の知識を提供するために最善を尽くします。

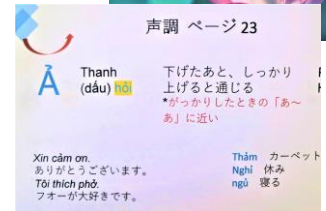
(原文のまま)



Phu Quoc



Attractive Hanoi



ベトナム語講座受講記

西地区 下村斉明



2021年9月からRKKでベトナム語講座が始まった。

ベトナムは現在、留学生出身国順位で2位と近年とみに増加していることもあり、また、私には全く予備知識のない言葉でもあったので、老後の手習いで受講することにした。先生は横浜国立大学の大学院生でPhung Thi Xuan Huongさんと称し、毎回熱心に教えて下さる。しかし、老化の進んだ我が頭にはなかなか先生の言葉が収納しきれず、前回の復習で答えるよう指名されても、答えるのに時間がかかる。先生は褒め上手で、「いいです。上手になっています。」と言って下さるので、こちらも「そうかな」と思い、つついその気になる。

また、授業では先生が指定教科書をベースにして独自に編集された教材を毎回音声ファイルを含んだパワーポイントで準備し、効率的に授業が進むよう工夫し、授業終了後にメールで送付して下さるので、復習にも役立っている。更に、授業で我々が日本語授業を行う際にも活用できるようなツールも使われる上、授業の前後・合間にはビデオを使ってベトナムの歌・文化・風景等の紹介をして下さるので、先生の授業ぶりを目の当

たりにするだけで次の授業が待ち遠しくなる。1年後にどの位、自分のベトナム語が進化しているか、一寸楽しみでもあり、不安も残る。さあ、どうなることやら。

RKK中国語教室での講師としての思い出

支 彤彤（中国） 横浜国立大学大学院



皆さん、こんにちは。中国の山西省から参りましたシトウトウと申します。横浜国立大学で社会保障法を専攻していて、修士2年生です。2022年3月末に帰国する予定です。

2021年3月からRKK中国語教室の講師を担当して以来、皆さんから温かく見守られてきて、私は随分と授業の雰囲気を楽しんでいました。

授業の内容としては、当初、中国語の文法を中心に進める予定でしたが、書く、話す、聞く力を付けてもらいたいと思い、事前に用意した複数のトピックスの中から好きなテーマを選んで皆さんに文章を作っていただく方法にしました。最初は皆さんに中国語をどんどん使ってもらいたくて、二言、三言の文章でも良いと考えていました。ところが、

皆さんが作った文章は、内容も素晴らしいものでした。中国の文化に対する思い、留学生との交流、中国旅行の思い出など、すごく感動しました。授業中も活発に質問をされ、また、作文の訂正にもお手伝いをしていただきました。この半年間は皆さんの努力と中国語の進歩をすごく感じています。

授業をやっている時に実感したのは皆さんの元気さです。定年退職後も、ちゃんと自分の趣味を持ちながら、中国語の勉強をして、さらに元気に生活している姿は、私の生活や考え方に大きな影響を与えました。中国にいる時、私の周りのシニアたちは老後でも農地の作業をやっていて、趣味を持ちながら、勉強を続ける人はほとんどいませんでした。

コロナ禍で、今までの授業はすべてオンライン授業でした。そのため、皆さんと会う機会はありませんでしたが、11月のコロナが落ち着いている時に、やっと皆さんと会えることができたのです！このことは、私にとって最も忘れ難い思い出になりました。

これからも皆さんが健康で元気に生活されるように心よりお祈り申し上げます。（原文のまま）

よこはま夢ファンドのご案内

横浜市には、ボランティア団体の支援を目的とした“よこはま夢ファンド”の制度があることをご存知でしょうか。このファンドを通じてRKKの留学生支援活動を支援していただくことができます。ご協力をお願い申し上げます。税制上の優遇措置などの詳細は [よこはま夢ファンド](#) で検索してください。



委員会情報

RKK会員のオンライン利用に関するアンケート（結果報告）

ICT推進委員会

このたびのオンライン利用に関する会員皆様へのアンケートをとりまとめました。データや記載事項が非常に多く多岐に亘りますが、紙面の都合で要点を報告します。コロナ禍での活動停滞の状況にも関わらず、このように多くの回答をいただいたことを感謝しております。（回答比率；約50%）

（注）下記のグラフは主な例示です。説明では他の多くのデータも含めて概要をまとめています。

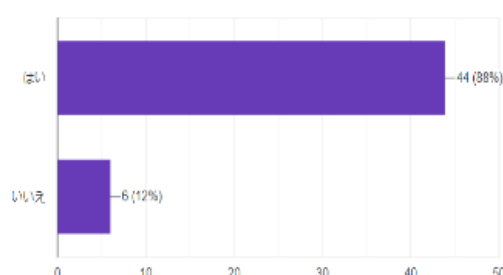
（Ⅰ）全員の回答 オンラインの利用全般について

（約50%）

オンラインを利用している会員は約92%である。なお、留学生からのオンライン利用の希望は約58%である。会員のオンラインの利用目的は会議・交流会等の利用目的（地区交流会、語学学習等）が最も多く、次いで、日本語支援、留学生との交流等である。

3. 「オンライン」をRKKの活動に利用したことがありますか？

50件の回答



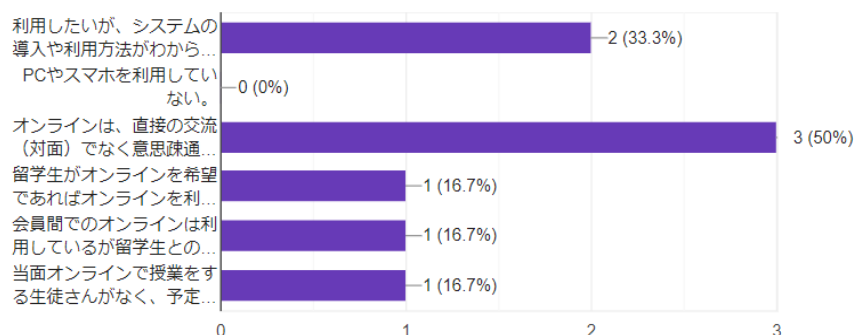
（Ⅱ）オンラインを利用しない人

（約16%）

オンラインを利用しない最多の理由は、対面よりも意思の疎通に劣ること（約50%）、システムの導入や利用方法の不明など（約33%）、ただし、オンラインの利用ができれば、オンライン利用希望は約55%になる。

1. 「オンライン」を利用していない理由は？

6件の回答



（Ⅲ）オンラインを利用する人への回答（34%）

現在、オンラインによる留学生への支援・交流人数は約53%で、同時に支援する留学生数は1：1方式が約74%。一方、支援・は1：1方式が約74%。一方、支援・交流人数が同時に2人以上の場合は26%である。オンラインが最も利用される活動は、地区交流会（約73%）、次いで、日本語支援が約57%である。また、日本語支援の方法はオンライン（のみ）が最も多く（約46%）、次いで、オンラインとメールとの組み合わせが約30%である。この両者を合わせたオンラインを含む利用方法は約76%になる。日本語支援や会議等でのオンライン利用の理由は、遠距離対応・移動時間の節約（約9%）、自宅での対応可能（約81%）などが挙げられた。

一方、短所は、気持ちが通じにくい（意思の疎通の問題）が約60%と最多で、次いで、資料や物を見せ合う不自由（共有化の問題）が約49%等である。また、オンラインによる会議では、数人の同時会話が難しく発言が制約されるとの指摘が多く（約58%）、会話が流暢に進まない（約50%）、会議の盛り上が

りに欠ける（約29%）との指摘もある。

一方、オンラインでは話を集中して聞くことができるとの利点（約29%）もあった。オンラインによる留学生の支援・交流では、1人（1:1）支援が多いが。中には同時に2人～3人への支援（約25%）、外国（母国）在住者の留学生との交流者が約25%もある。

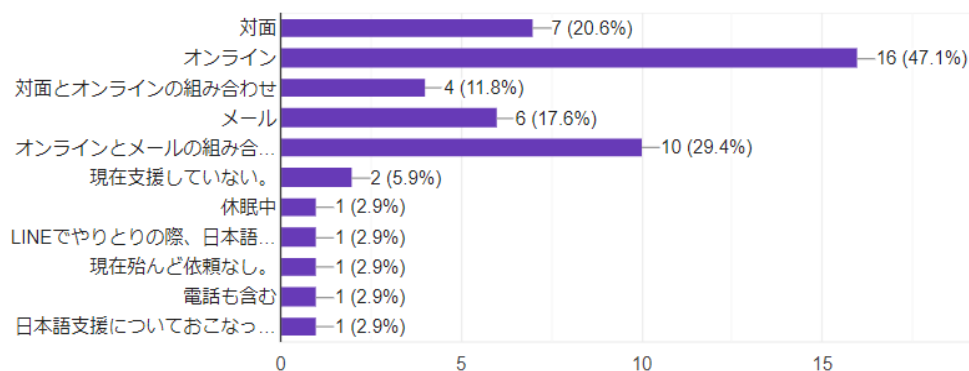
コロナ禍後の留学生支援・交流の希望方法は、最多はオンラインと対面との組み合わせが約82%と非常に多い。また、オンライン機能を活かした新しい活動として、帰国留学生、日本留学予定者(外国在住)への日本語支援関連、遠距離（国内）の留学生への支援拡大など、遠距離の人々との交流の容易さとそれによる交流の拡大等の希望がある。

会議や交流等の開催の容易さ（移動、会場の確保等）が各種交流の広がりや期待されている。そして、オンラインの短所をサポートし、一方で、長所を生かしたオンラインの活用方法を検討することも望まれている。

以上

4. 現在行っている日本語支援（個別支援）の方法について（複数回答も可）

34件の回答



地区からのたより

西地区からの便り

一年振りの対面による地区交流会

西地区 小島 明子



西地区では10月31日(日)に一年振りの対面による交流会が開かれました。出席者は8人でした。新たに松田満理子さんの入会がありました。

RKKでは本年度の年次計画で二つの新しい活動が始まりました。

- ① ベトナム語学習会の九月開講
- ② ICT推進委員会によるオンライン利用の推進

西地区交流会でもこの二つの話題に関して熱心な報告や意見が交わされました。

オンラインによるベトナム語学習会には西地区から4人が受講しています。先生が発音、挨拶や文化等の動画を学習に取り入れ、皆さんが毎回先生のアイデアを楽しみに意欲的に学習されています。またベトナムからの留学生を支援している方もいて、親しみの持てる交流に繋がると思いました。

オンライン中国語学習会では、学習内容が瞬時に先生のパソコン画面に映し出されるので集中して学習しているようです。また受講者のメッセージが画面で表示されるので参加者の意欲が高くなり励みになるようです。

オンラインの浸透によって教材や学び方に大きな変化が生まれました。今回の交流会では皆さんの留学生への日本語支援活動に多くのヒントが得られました。

オンライン授業については変化に富んだ学習が出来ると思いました。1対1による日本語支援はオンラインと対面にそれぞれの良さがあると思います。しかし、地区交流会やミーティングは皆さんの表情を見ながらお話し出来る対面の良さを改めて感じました。

コロナ禍にあってもRKKでは、RKKニュース、誌上文化作品展、写真出展、オンライン委員会、日本語支援、学習会など地道な活動が継続されています。早い時期に活気のあるRKK活動に戻られることを願っています。

RKK 湘南地区たより

湘南地区 坪井 弘喜



二年続きのコロナ禍の状況のもと、他の地区同様わが湘南地区においても、活動の大幅縮減を余儀なくされている状況は不変であります。然しながら、掛かる制限下においてもZoomやLine等のPC/携帯を活用した日本語指導を実施されている会員の方、感染数の減少に伴い対面指導を始めておられる方も徐々に増えてきております。

従来であれば、3か月に一度地区交流会を開き、会員の皆さんの活動状況を確認し合うところですが、コロナに対する警戒感も人により様々ですので、一同に会しての集まりは自粛しております。代わりに、RKK全体で新設されたICT委員会に平澤さんに加わって頂き、Zoomによる会員との会合をスタートしております。

今年度目標の一つとして掲げた、世話役の世代交代もそんな状況から進捗を見ておらず、来年度以降に持ち越すこととなります。例年参加していた藤沢市国際市民祭りも昨年同様コロナで中止となりました。また、平塚市民祭りはブース開設による各種ボランティア活動紹介は中止でしたが、ポスター展示会があり、RKK活動状況を写真展示致しました。一方、藤沢市から依頼のあるネット情報、質問に対する応答など従来よりも肌目細かく情報共有し合い、MAP情報のアップデートの効果あってか、広報を見たと連絡が入りRKKの活動を電話で紹介し、その後新たに新規会員が4人増え、会員数が11月末現在21人となっております（正会員の中でチューター18人が学習者17人を支援）。未だコロナ禍で留学生が帰国して戻らずあるいは活動自粛などの理由等もあるのでしょうか。新規マッチングが成立していない方もおられますが、今後の進捗状況をよく見ながら早くマッチング出来るよう、マッチング担当と一緒にフォローしていきたいと考えております。

今年も残すところあとひと月。新たなオミクロン株の流行不透明感、更にはインフルエンザの季節到来で、例年の忘年交流会合は自粛せざるを得ないと考えておりますが、出来ればZoom会合で締め括られればと思います。

トピックス

ひらつか市民活動センターのポスター展に参加

コロナで、ひらつか市民活動センターまつりが中止になり、代わりにポスターを展示するイベントが開催されました。17団体が参加、出展しました。手書きあり、ポスター風の本格的なものもありましたが、それぞれ工夫して作成されたポスターでした。コロナが少し落ち着いたことから多くの人が展示されたポスターを見に来られたようです。少しでも多くの人にポスターを通してRKKの活動を知ってもらえたらうれしいです。開催期間は2021年10月25日～11月30日でした。（湘南地区 平澤）



おもな活動 (2021/11 から 2022/1 まで)

理事会

- ◇12/26 サポートセンターR711 にて、第 1 回理事会が開かれ、活動グループ、委員会の担当理事からの報告と協議がされた。

スタッフミーティング

- ◇12/26 午後、サポートセンターR711 にて 16 人のスタッフの参加のもと、2021 年度第 3 回スタッフミーティングが行われた。コロナ禍で、約 2 年ぶりの対面式会議となり、活動グループ、地区交流会、委員会それぞれからの C&C (報告・連絡そして相談) を実施した。感染防止のため、ディスカッションタイムは、取りやめ、1 時間半で終了した。

活動グループ

- ◇日本語支援 G：恒例の日本語の教え方講習会、日本語スピーチ大会は昨年に引続き、開催は中止。オンラインによる日本語支援を推進。
- ◇文化・ファミリー交流 G：秋の RKK フェスティバルでの文化祭は中止し、誌上文化祭作品集を H P に掲載し、会員に PDF 配信。毎月「交流だより」を発信し、会員間の情報を交換。
- ◇中国語学習 G：週 1 回の ZOOM オンライン授業を継続。
- ◇社会・工場見学 G：コロナ禍のため、恒例の秋の見学イベントは中止。

地区交流会

- ◇東地区：11/26 に、かわさき活動センターで、ZOOM 勉強会と対面交流会を実施。
- ◇西地区：10/31 に、1 年半ぶりに、フレンズ戸塚で対面交流会を開催し、8 人が参加。
- ◇南地区：9 月に、メールで会員から近況報告を収集。
- ◇北地区：11/14 に、留学生 5 人とのオンライン交流会と会員同士のオンライン会議を 2 部構成で開催。
- ◇中央地区：11/19 に、5 人でオンライン交流会を開き、10 人のメールによる近況報告も画面で共有。
- ◇湘南地区：12/21 に、9 人が参加してオンライン交流会を実施。

委員会

- ◇会員委員会：会員名簿の更新、マッチングの実施。
- ◇広報委員会：RKK ニュース 86 号の編集。PDF の配信を主体とする。
- ◇キャリア支援委員会：1/18 に、第 6 回オンラインで読書会を実施。
- ◇企画委員会：新規事業として、ベトナム語学習講座を 9 月から始めた。月 4 回のオンライン形式。
- ◇会計委員会：立替支払い処理収支決算作成。
- ◇ICT 推進委員会：オンライン支援につき、留学生および正会員へのアンケート調査を実施。
- ◇事務室：理事会・スタッフミーティング開催準備。

留学生の皆さんへ / For International Students

Let's join one-to-one Japanese language teaching program by volunteers.

- ・ 日常会話 (Daily Conversation)
- ・ ビジネス会話 (Business Conversation)
- ・ 卒論、レポートの文書支援 (Writing Japanese Theses & Reports)
- ・ 新聞／書籍等の読解 (Reading Newspaper & Books)
- ・ 日本語能力試験 (Japanese Language Proficiency Test)
- ・ 就職活動 (Job Hunting・Entry sheets/Interviews)

Enjoy visiting plants/ laboratories and participating in various cultural exchanges.

Contact: 津田(Tsuda) e-mail: sakura_tsudakei@ybb.ne.jp

Home Page : <http://rkk.world.cocan.jp/>

Scan this code for getting application form



NPO法人 留学生と語り合う会



連絡先 : 〒245-0008 横浜市泉区弥生台 9-1-12-407 萩原 敦

e-メール : rkk1025office@yahoo.co.jp Tel & Fax: 045-813-8327

ホームページ : <http://rkk.world.cocan.jp/>

Friendship Association for International Students and Japanese Volunteers

RKKニュース編集 : RKK広報委員会 (新年号担当) 深水智明 Jan.25.2022

無断転載をお断りします。

